

明後日投票 「対話で変わる！」 全力支援を

答えぬ維新に抗議したら「反対に入れたら」と
清水演説聞き「賛成」から「考える」に

清水ただし衆院議員が29日、野田阪神で宣伝していた時のこと。ピラを受け取って最後まで清水さんの話を聞き、終了後質問してきた中年男性。「賛成のつもりだったが反対派のピラも集めて検討していた」と言います。



この男性は、ピラを配っていた維新に「反対派が財政問題などいろいろ言っているが、これは論破できるの？」と質問。「そんなこと今ここであなたと議論しても仕方ない」と運動員は冷たい態度。「マイクを握っている市会議員の人に話を聞きたい」と言ったら「ダメだ。「それはないやろ」と抗議したら、「それなら反対に入れたらいいでしょ」と言われ、暗い気持ちで野田に帰って来たら、清水さんが宣伝していたとのことでした。

清水さんとも対話。「財政は厳しくなるということやな。自分は賛成だったが、今日でまったくの白紙になった。最後までよく考えたい」と去って行きました。

「私は公明党。悩んでるんです」 相手に寄り添い対話

石谷泰子堺市議のFacebookより

公明党支持と言う女性。こう言いました。「反対の方ですよね。私は公明党なんです。実は悩んでいます。公明党は賛成になってるけれど、どうしたらいいか。なんで今回賛成に変わったのか、選挙区の候補者を競合させないように取り引きやと。言われんでもわかっている。政治っていろいろ裏の事があると思うけど、そんな政治は嫌なんです。公明党は自民党の突っ走るのを止める役割やと説明されてきた。今回、維新に同調して住民投票して、これは維新の暴走を止めてんのか？そうってないと思うのです」

私「そうですね。悩みますね。公明党の皆さん、真面目に考えてる人ほど悩んでるみたいですね。」と、相手の気持ちに寄り添いながら丁寧に聴くと、立ち話ながら結

構長い対話になりました。「これは、支持政党を選ぶ選挙ではありません。公明党支持でも維新応援しててもいい。大阪を廃止するかどうかの選挙です。しっかり考えて判断してください。」と言って別れました。この女性はきつと「反対」に投票されると思いました。

今日も無名のヒーロー現る！

上原賢作東大阪市議のFacebookより

西区・立売堀（いちばり）付近での宣伝中に、バイクに乗った男性が「反戦タイガース尼崎支部やねん。昔は大阪市に住んでいて、いま大阪市役所前で宣



伝してきた」と激励していただきました。それにカンパまでいただき、最後まで頑張りましょうと話をしました。こうした人がどんどん現れています。でもまだ逆転勝利まで届いていない。どんどん立ち上がる人を増やそう！

もう一押しが大事

2度の支援の伊吹裕・滋賀栗東市議の感想

23日に続き28日に2度目の支援。福島区役所前の宣伝では、「反対や。反対や」と叫ぶ人がいるかと思うと、首を横に振りながら通り過ぎて行く若者もいました。こうした市民のアクションから、本当に拮抗している、どっちに転ぶかわからないという空気です。だからもう一押しが大事です。

「迷っている」という清掃作業をしている男性と対話。政令市の権限や財源などをていねいに情報提供したら、「やっぱり反対やな」と言ってくれました。わかりやすい名刺サイズのピラを配っていたら「知り合いに渡したい」とガバっと持っていく人も。

「よくわからない」と思っている人も少なくないけど、「賛成」派はでたらめばかりだから、話せば話すほど「反対」票は増える。投票日も含め栗東市のみんなに支援を呼びかけ、党勢拡大でも前進するためがんばります。

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 63(202010.30)